

回答人数 44		生徒の回答					回答人数 71		保護者の回答				
No.	生徒に対する質問	A	B	C	D	計	No.	保護者に対する質問	A	B	C	D	計
1	建学の精神に新しいことも取り入れ特色ある教育が行われている。	34.1%	54.6%	9.1%	2.2%	100.0%	1	建学の精神に新しいことも取り入れ特色ある教育が行われている。	25.4%	57.7%	15.5%	1.4%	100.0%
2	教育施設（各教科の授業内容）には満足している。	38.6%	45.5%	11.4%	4.5%	100.0%	2	教育施設（各教科の授業内容）には満足している。	40.9%	39.4%	15.5%	4.2%	100.0%
3	情操教育やしつけなど、適切な生徒指導が行われている。	36.4%	45.5%	11.4%	6.7%	100.0%	3	情操教育やしつけなど、適切な生徒指導が行われている。	36.6%	40.8%	14.1%	8.5%	100.0%
4	教育施設・設備が充実している。	15.9%	52.4%	25.0%	6.7%	100.0%	4	教育施設・設備が充実している。	16.9%	36.6%	33.8%	12.7%	100.0%
5	学校生活の安全管理がしっかりしている。	36.4%	47.8%	13.6%	2.2%	100.0%	5	学校生活の安全管理がしっかりしている。	28.2%	49.3%	22.5%	0.0%	100.0%
6	清掃をしっかりと行っている	34.1%	47.8%	15.9%	2.2%	100.0%	6	清掃をしっかりと行っている	22.5%	42.3%	26.8%	8.4%	100.0%
7	授業が、わかりやいく充実している。	34.1%	43.2%	18.2%	4.5%	100.0%	7	授業が、わかりやいく充実している。	35.2%	49.3%	12.7%	2.8%	100.0%
8	課題・提出物の量はちょうど良い。	25.0%	38.6%	25.0%	11.4%	100.0%	8	課題・提出物の量はちょうど良い。	22.5%	49.3%	18.3%	9.9%	100.0%
9	コロナ禍の中での対応(学校行事)が適切である。	47.8%	38.6%	11.4%	2.2%	100.0%	9	コロナ禍の中での対応(学校行事)が適切である。	35.2%	50.7%	12.7%	1.4%	100.0%
10	部活動が充実している。	52.3%	25.0%	20.5%	2.2%	100.0%	10	部活動が充実している。	62.0%	26.8%	7.0%	4.2%	100.0%
11	個々の希望に応じ、充実した進路指導が行われている。	38.6%	47.8%	11.4%	2.2%	100.0%	11	個々の希望に応じ、充実した進路指導が行われている。	35.2%	43.7%	15.5%	5.6%	100.0%
12	先生やカウンセラー等と、気軽に相談できる。	45.5%	34.1%	13.6%	6.8%	100.0%	12	先生やカウンセラー等と、気軽に相談できる。	40.9%	39.4%	14.1%	5.6%	100.0%
13	挨拶や言葉遣いは、しっかりできている。	36.4%	47.7%	11.4%	4.5%	100.0%	13	挨拶や言葉遣いは、しっかりできている。	28.2%	43.6%	25.4%	2.8%	100.0%
14	生徒の頭髪や服装はきちんとしている。	45.5%	34.1%	18.2%	2.2%	100.0%	14	生徒の頭髪や服装はきちんとしている。	42.3%	46.4%	8.5%	2.8%	100.0%
15	学校生活に満足している。	54.6%	34.1%	9.1%	2.2%	100.0%	15	学校生活に満足している。	29.6%	53.5%	11.3%	5.6%	100.0%
	合計							合計					

〔 A そう思う B だいたいそう思う C どちらかというそうは思わない D そうは思わない 〕

回答人数 751		生徒の回答					回答人数 663		保護者の回答				
No.	生徒に対する質問	A	B	C	D	計	No.	保護者に対する質問	A	B	C	D	計
1	建学の精神に新しいことも取り入れ特色ある教育が行われている。	17.8%	43.7%	28.9%	9.6%	100.0%	1	建学の精神に新しいことも取り入れ特色ある教育が行われている。	12.7%	51.8%	30.2%	5.3%	100.0%
2	教育施設（各教科の授業内容）には満足している。	23.3%	48.8%	21.8%	6.1%	100.0%	2	教育施設（各教科の授業内容）には満足している。	21.9%	46.9%	21.6%	9.6%	100.0%
3	情操教育やしつけなど、適切な生徒指導が行われている。	21.8%	43.1%	22.8%	12.3%	100.0%	3	情操教育やしつけなど、適切な生徒指導が行われている。	16.1%	48.1%	27.8%	8.0%	100.0%
4	教育施設・設備が充実している。	14.0%	32.6%	30.9%	22.5%	100.0%	4	教育施設・設備が充実している。	15.5%	43.3%	27.2%	14.0%	100.0%
5	学校生活の安全管理がしっかりしている。	21.0%	42.5%	25.6%	10.9%	100.0%	5	学校生活の安全管理がしっかりしている。	19.2%	53.1%	22.5%	5.2%	100.0%
6	清掃をしっかりと行っている	27.8%	36.0%	25.6%	10.6%	100.0%	6	清掃をしっかりと行っている	17.8%	47.8%	25.3%	9.1%	100.0%
7	授業が、わかりやいく充実している。	19.0%	48.5%	24.4%	8.1%	100.0%	7	授業が、わかりやいく充実している。	22.6%	50.9%	21.7%	4.8%	100.0%
8	課題・提出物の量はちょうど良い。	37.4%	37.9%	15.8%	8.9%	100.0%	8	課題・提出物の量はちょうど良い。	17.8%	53.7%	22.6%	5.9%	100.0%
9	コロナ禍の中での対応(学校行事)が適切である。	28.5%	42.7%	17.7%	11.1%	100.0%	9	コロナ禍の中での対応(学校行事)が適切である。	27.6%	48.4%	18.6%	5.4%	100.0%
10	部活動が充実している。	29.0%	38.5%	19.7%	12.8%	100.0%	10	部活動が充実している。	35.1%	24.6%	18.3%	22.0%	100.0%
11	個々の希望に応じ、充実した進路指導が行われている。	30.4%	47.4%	15.8%	6.4%	100.0%	11	個々の希望に応じ、充実した進路指導が行われている。	25.0%	48.9%	20.5%	5.6%	100.0%
12	先生やカウンセラー等と、気軽に相談できる。	26.6%	40.5%	20.6%	12.3%	100.0%	12	先生やカウンセラー等と、気軽に相談できる。	25.5%	41.5%	24.7%	8.3%	100.0%
13	挨拶や言葉遣いは、しっかりできている。	28.6%	44.8%	20.2%	6.4%	100.0%	13	挨拶や言葉遣いは、しっかりできている。	23.0%	52.5%	20.1%	4.4%	100.0%
14	生徒の頭髪や服装はきちんとしている。	26.2%	35.7%	26.6%	11.5%	100.0%	14	生徒の頭髪や服装はきちんとしている。	25.9%	50.4%	19.0%	4.7%	100.0%
15	学校生活に満足している。	29.4%	42.7%	18.2%	9.7%	100.0%	15	学校生活に満足している。	26.7%	49.2%	17.8%	6.3%	100.0%
	合計							合計					

〔 A そう思う B だいたいそう思う C どちらかというそうは思わない D そうは思わない 〕

令和4年度 自己評価表及び学校関係者評価委員による評価（浜松学院中学校）

今年度の重点目標	1. わかる授業、少人数指導の充実、ICTを効果的に活用し、授業の充実と学習意欲の向上を図る。 2. 確かな子ども理解、家庭との連携（相談機能）を強化し、一人一人のよさを伸ばす生徒指導に努める。 3. 外国人を活用した英語教育の充実（朝の英会話等）、国際理解教育の充実を図る。 4. 夢を持つこと等、授業、総合的な学習、学校行事を通して計画的にキャリア教育を充実させる。
----------	---

〔 A そう思う B だいたいそう思う C どちらかというそうは思わない D そうは思わない 〕

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価	
			A	B	C	D			
学 校 運 営	募集広報活動の充実	オープンキャンパス・学校説明会等を通じて、生徒・保護者に本校の教育方針をわかりやすく伝え、本校への進学希望者の増加を目指す。 (前年度比参加者数の増加を目指す)	33	67	0	0	・オープンキャンパス等は可能な範囲で実践し参加者も増えたが、開催時期はさらに時期を早めスタートしたい。 ・「学院中だより」の地域回覧、ポスターの本屋への依頼、ホームページでの情報発信は積極的にできた。 ・西部地区の小学校とは、教育内容、生徒についての情報交換は積極的にできている。今後も継続する。	A	
	開かれた学校づくり	文化祭、体育祭、勤労体験などの学校行事を通して、地域の理解を得よう努める。	40	40	20	0		B	7
		小学校・中学校教員及び塾の講師にきめ細かな情報提供を行い、より多くの児童・生徒の進路先として望ましい学校としての評価定着を目指す	30	20	50	0		C	1
	PTA活動への支援	PTA総会の出席率の向上(前年度比増)を目指し、PTA事業に対する理解を得よう努める	25	63	12	0	・コロナ禍ではあるが、PTA総会は2年ぶりに開催することができた。 ・授業参観会、文化祭、体育祭も役員の方の協力を得ながら実施することができたことは大変よかった。コロナの状況を見つつ、PTA事業が少しでも活発に推進できるよう、役員と相談し進めていきたい。	D	
			PTA役員との連携を密にして、授業参観、各種事業の推進、国・県での各種大会への積極的な参加を図る。	33	66				E
学 習 指 導	確かな学力の育成	課題・提出物の指示や定期テスト・小テスト等の実施により、継続的な家庭学習の態度を育成する。	20	60	20		・どの学級も授業開始前に着席し、落ち着いた授業が行われている。 ・複数教員による授業、ICT活用も生徒個々の学習意欲向上につながっている。今後さらに学力が定着するよう評価を指導に役立てる工夫をしたい。 ・部活動では全国大会出場とはならなかったが、男女とも県1位、2位になる等文武両道に向け取り組む姿勢がある。	A	5
		地道かつ丁寧な学習指導により、赤点生徒数の割合を前年度より減少させる。	13	50	37			B	2
	授業の充実及び部活の活性化	分かる授業・魅力ある授業の実践に努め、授業への参加意欲を高める。	50	30	20			C	
		チャイムと同時に授業を開始するよう努める。	80	10	10			D	
		高総文祭、高校総体、選手権、選抜大会、全中等、全国大会への出場意欲を高め、出場部活数において、前年度よりの増加を目指す。	40	20	20	20		E	1
	(参考) 令和3年度 全員iPad所持 令和4年度 Wi-Fi環境 プロジェクター設置								

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価	
			A	B	C	D			
生徒指導	基本的生活習慣・思いやりの心の確立への支援	家庭（保護者）との連携を深め、生徒指導件数の前年度比10%減を目指す。	11	67	22		・2年生は、少人数であるため、人間関係でつまずくと修復が難しい面があった。 ・教員が積極的な生徒指導（前始末）に心掛け、問題行動等はほとんど見られなかった。 ・不登校傾向の生徒もいるが家庭と連絡を取り対応しており、少しずつだが好転している。	A	
		年間の欠席・遅刻・早退者数の前年度比10%減を目指す。	33	56	11			B	7
		年間の退学・転学者数の前年度比10%減を目指す。	29	43	28			C	
	あいさつ清掃の励行	教職員自ら率先垂範し、生徒への声掛け・清掃を積極的に行う。	50	30	20		・あいさつは、心掛けている生徒が多く、向上傾向にある。よさをほめつつ教師も率先してあいさつをする必要がある。	D	
								E	1
進路指導	進路意識の向上及び進路目標達成への支援	系の授業やマイビジョンの種学習を充実させ、	44	44	12		・部活動を終えた3年生が放課後自主学習を進める等の風土ができてきた。 ・英検・漢検の検定対策にも目標をもって取り組む生徒が多い。 ・「自分のよさを見つける」「将来の夢」について職場体験を絡めながら計画的に進めることが大切である。	A	5
		具体的なマイビジョンの設定をサポートする。							B
		進路（進学・就職）補習や各種検定資格取得を積極的に推進する。	50	38	12			C	
							(参考)英語検定 令和2年度 2級(1) 準2級(2) 3級(11) 令和3年度 準2級(1) 3級(5) 令和4年度 3級(9)	D	
								E	1
研修	校内研修の充実	校内公開授業や研究授業を実施し、授業内容・授業力の向上に努める。	14	43	28	14	・浜松市教育センター主催の研修等一人2回以上参加することができた。研修主任（中）を中心に報告会を行い研修内容について共有できたことも大きかった。	A	
		自己啓発研修講座等へ積極的に参加する。	20	50	20	10		B	8
							(参考) 令和4年度 研修会出席回数 17回	C	
								D	
								E	
読書指導	図書館利用の促進	教科との連携や総合学習での利用促進により図書館利用者数の増加を図り、	20	10	50	20	・朝読書はどの学年も時間通りスタートし、落ち着いてできている。 ・生徒会「学習委員会」が学級文庫用の本を選び読書の啓発を図っている。	A	1
		クラス別の貸出件数を定期的に公表することにより教員の啓蒙意識を向上させる。（全クラス月平均5冊以上の貸し出しを目指す。）							B
		朝読書、読書指導の充実を図る。	56	44				C	
		「図書館便り」の発行回数を増やす。	50	0	50	0		D	
								E	

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価	
			A	B	C	D			
保健指導	心身の健康の保持と健全な人格形成への支援	定期健康診断を完全実施するとともに、事後指導を徹底する。	50	50	0	0	・昼食時の黙食は各学級徹底できている。 ・薬学講座・健康教育・思春期講座などを専門機関と連携して実施して行っている。 ・各教員が安心して相談できる力量を付けていると思われる。さらに磨いていきたい。	A	2
		正しい食事の在り方や、望ましい食習慣を身につけさせる。	25	38	25	12		B	6
		薬物乱用・喫煙・飲酒等の身体的悪影響に関する指導等の充実を図る。	57	43	0	0		C	
	教育相談の推進と定着	担当者と担当曜日を生徒に知らせ、相談しやすい環境をつくる。	25	75	0	0		D	
		事例研究会や伝達講習などを通じ、教職員の共通理解に努める。	40	40	0	20		E	
安全教育	防災・安全教育の推進	交通安全教室などを開催し、交通安全に対する意識の啓蒙に努める。	71	14	14	0	・1年生対象に交通安全教室を実施している。登校時の自転車事故は1件あった。今後、学年の幅を広げ実施することも考えたい。 ・生徒会活動であいさつ運動は実施したが、PTAとともに行うあいさつ運動は、コロナ禍で行わなかった。	A	1
		防災訓練等を通して、生徒・職員の防災に対する意識を高めるとともに、災害時にそなえ、備蓄資材の充実を図る。	25	63	12	0		B	6
	PTAとの連携	あいさつ運動や街頭交通指導へのPTA参加を積極的に推進する。	17	33	33	17		C	
								D	1
								E	
学年別	(1・2年) 学習習慣の早期確立	頭髮・服装・言葉遣い、欠席・遅刻をしない等の指導を徹底し、基本的生活習慣の確立を目指す。	11	78	11	0	・どの学年も時間を守ることができ、生活のリズムがくずれることもなかった。また、授業への取り組みも前向きな生徒が目立つ。 (3年生) 自らの目標に向け、日頃の授業、放課後の個別学習ともに積極的に取り組むことができた。また、夢の実現に向けの進路指導に重視しながらも、本高校内進への啓発を行うことができた。	A	
		学校行事・HR活動・部活動を通して、調和のとれた豊かな人間性を育む。	22	67	11	0		B	7
	(3年) 進路目標の達成	授業への真剣な取り組みと併せ、進路目標達成のため、個別面接指導の強化に努める。	40	60	0	0		C	1
								D	
								E	

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価	
			A	B	C	D			
事務運営	職員室及び P T Aとの円滑 な事務運営	施設の維持補修等は費用対効果に配慮して適切な予算執行に努める。	14	86	0	0	・施設の整備、改修等優先順位を付け、実施しているが、未実施の箇所も多い。今後も事務室と教員との連携を一層密にして、施設維持補修に取り組んでいく。 ・校納金の滞納がないよう、事務室・学級担任、保護者との連携を密にした。	A	
		事務室と職員室との連携を密にし、募集広報・教育活動を積極的に支援する。	25	63	12	0		B	7
		校納金滞納者への積極的な督促を行い、未納を前年度比において減少させる	14	71	0	14		C	
		就学支援金制度の保護者への周知徹底を図り、制度該当者の漏れを防止する。	33	50	0	17		D	1
		教員免許更新制度の周知徹底を図り、更新漏れを絶対に防止する						E	

(自己評価総評)

全体的に、「Bほぼ達成できた」という回答が多かった。しかし、中学校教員にとっては「質問に該当しない」という回答が多い質問も多く、設問内容について再構築する必要がある。
魅力多い学校づくりのために、教員一人ひとりが責任のある言動を行い、生徒の個性がのびのびと発揮でき、活気あふれる学校生活の実現にむけ努めたい。

令和4年度 自己評価表及び学校関係者評価委員による評価（浜松学院高等学校）

今年度の重点目標	1. わかる授業づくり、魅力ある授業づくりを通して、生徒ひとりひとりの学びを大切にする教育を実践する。 2. 家庭との連携、協力のもと、基本的生活習慣及び学習習慣の確立を図り、落ち着いた学校づくりを目指す。 3. 学校行事や部活動、生徒会活動を通して、充実した学校生活を実感させるとともに、交通安全教育、防災教育の推進にも努める。 4. 3年間を見通した計画的な進路指導を通じて、自己の将来を見つめる力を育み、個々の生徒の最適進路の実現を目指す。
----------	--

[A そう思う B だいたいそう思う C どちらかというそうは思わない D そうは思わない]

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価																		
			A	B	C	D																				
学 校 運 営	募集広報活動の 充実 開かれた学校づ くり	オープンキャンパス・学校説明会等を通じて、生徒・保護者に本校の教育方針をわかりやすく伝え、本校への進学希望者の増加を目指す。	22	68	10	0	・学校説明会やHP上の情報提供等を通して、中学生とその保護者に対して、本校の教育活動の特色についての周知に努めた。次年度も積極的な展開を図る。	A																		
		中学校教員及び塾の講師にきめ細かな情報提供を行い、より多くの児童・生徒の進路先として望ましい学校としての評価定着を目指す。	10	63	20	7	・家庭や地域の方々の学校行事への参加はコロナ感染で限定的となった。次年度は拡大したい。	B	7																	
		文化祭、体育祭、勤労体験などの学校行事を通して、家庭や地域の理解を得るよう努める。	13	53	26	8		C																		
	PTA活動の充実	P T A 総会の出席率の向上を目指し、P T A 事業の振興を図る。	10	55	35	0	・PTA総会は2年ぶりに開催。PTA各種事業（授業参観、文化祭、体育祭）も実施した。ただし県、国規模の対外的活動の多くは中止。次年度もコロナ感染の状況を踏まえつつ、活動の推進を図る。	D	1																	
		P T A 役員との連携を密にして、授業参観、各種事業の推進、国・県主催の各種大会への積極的な参加を図る。	4	52	40	4		E																		
						参考 P T A 総会出席率(%) <table><tr><td></td><td>R1年度</td><td>R4年度</td></tr><tr><td>中学</td><td>35.5</td><td>41.4</td></tr><tr><td>高 1</td><td>45.0</td><td>26.3</td></tr><tr><td>高 2</td><td>24.4</td><td>24.1</td></tr><tr><td>高 3</td><td>22.6</td><td>6.7</td></tr></table>					R1年度	R4年度	中学	35.5	41.4	高 1	45.0	26.3	高 2	24.4	24.1	高 3	22.6	6.7		
	R1年度	R4年度																								
中学	35.5	41.4																								
高 1	45.0	26.3																								
高 2	24.4	24.1																								
高 3	22.6	6.7																								

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価	
			A	B	C	D			
学 習 指 導	確かな学力の育成	課題・提出物や定期テスト・小テスト等の実施により家庭学習を含め、学習習慣の確立を図る。	11	57	20	2	・観点別評価の導入とともに成績不良者は減少傾向にあるが、「知識・技能」の堅実な定着は次年度に課題が残る。 ・プロジェクターの設置活用により授業方法が更新した。次年度以降は端末使用と併せ授業改善を図りたい。 ・ダイビング、自転車が全国大会入賞。女子バスケ東海大会出場。	A	0
		生徒の実情に応じた丁寧な学習指導により、成績不良（赤点）生徒数の割合を減少させる。	11	56	30	3		B	6
	授業の充実及び部活の活性化	分かる授業・魅力ある授業の実践に努め、生徒の授業への参加意欲、学習意欲を高める。またその方途としてICT機器の活用を積極的に進める。	11	64	23	2		C	1
		チャイムと同時に授業を開始する。	31	56	10	3		D	1
		高総文祭、高校総体、選手権、選抜大会等、地区大会や全国大会への出場意欲を高め、出場部活数の増加を目指す。	11	39	37	13		E	0
						(参考) R4年度ICT環境整備 ・Wifi環境整備（全館） ・プロジェクター設置(1年教室) ・1年生ipad所持			
生 徒 指 導	基本的な生活習慣確立への支援	家庭（保護者）との連携を深め、問題行動を予防するとともに、生徒指導件数の減少を目指す。	22	32	30	16	・生徒指導件数はやや増加傾向。 ・欠席遅刻早退は昨年度並み。 ・転退学者数はやや減少。 ・次年度は10%減を目標とする。	A	
		年間の欠席・遅刻・早退者数の減少を目指す。	13	36	38	13		B	4
		年間の退学・転学者数の減少を目指す。	25	28	36	11		C	3
	あいさつ清掃の励行	教職員自ら率先垂範し、生徒への声掛けや清掃活動を積極的に行う。	33	52	13	2	・次年度も継続。	D	1
								E	
進 路 指 導	進路意識の向上及び進路目標達成への支援	「系」の授業やLHRでの進路学習を充実させ、具体的な進路設定やその具現化をサポートする。	19	51	30	0	・2年生が地域企業を対象とした探究活動「locus」を実施。また「系」の授業では学院大学との連携授業を実施した。次年度以降も進路学習の内容を精選する。 ・大学短大進学者は昨年並み。 ・就職未決定者は増加。 ・求人件数は昨年度並み	A	
		進路（進学・就職）補習や各種検定資格取得を積極的に推進する。	24	43	31	2		B	7
		大学・短大進学合格者（浪人生含む）の増加を目指す。	15	48	33	4		C	1
		就職希望者において、卒業時未定者を出さないための計画的で継続的な指導を行う。	26	57	17	0		D	
		求人件数の増加・開拓に努める。	0	59	18	23		E	
							(参考)R3年度 大学短大進学者 118人 47% 就職未決定者 2人（R4：6人） 求人件数515件（R4：725件）		

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価			
			A	B	C	D					
研 修	教職員研修の 充実	校内公開授業や研究授業を実施し、新学習指導要領に応じた授業内容・授業力の向上を図る。	7	24	43	26	・校内公開授業や研究授業及び校外での研修参加は一部の教員の参加や実施に止まった。次年度は全校体制で研修機会が高まるよう改善を図る。 ・観点別評価は研修の上導入。	A			
		私学協会主催研修会（5年10年経験研修、リーダー研修、分掌別研修）や民間研修講座等への参加を積極的に行うとともに県内外の先進校への訪問研修を実施し、個々の教員の資質並びに組織力の向上を図る。	13	21	41	25		B	2		
								C	6		
								D			
								E			
読 書 指 導	図書館利用の促進 読書週間の確立	教科との連携や総合学習での利用促進により図書館利用者数の増加を図る。またクラス別の貸出件数を定期的に公表することにより図書館利用の促進と読書を向上させる。	11	19	54	16	・授業での図書館利用は多く、親しみやすい図書館のイメージは定着しているが、放課後等の個別利用者は一部に限られる。 ・次年度も朝読書の充実とともに読書習慣の確立を目指す。	A	1		
		朝読書の充実を図る。	31	38	31	0		B	3		
		図書館便り等の定期発刊を通して読書の啓発を行う。	10	60	10	20		C	4		
								D			
							（参考） R 3年度 図書貸し出し 一人あたり平均 3.7冊	E			
保 健 指 導	心身の健康の保持と健全な人格形成への支援	定期健康診断を完全実施するとともに、事後指導の徹底を図る。	22	61	13	4	・薬学講座・健康教育・思春期講座などを専門機関と連携して実施した。 ・学校生活に困難を抱える生徒の情報は、校内の諸会議（学年、運営委員会、職員会議）で定期的に情報共有している。 ・教育相談については、今後も積極的な利用を呼び掛けていく。	A			
		正しい食事の在り方や、望ましい食習慣を身につけさせる。	11	48	30	11		B	8		
		薬物乱用・喫煙・飲酒等の身体的悪影響に関する指導等の充実を図る。	17	54	25	4		C			
	教育相談の推進と定着	「保健便り」等で相談室利用の広報を行うとともに、安心して相談を受けやすい環境をつくる。	21	48	28	3		D			
		事例研究会や情報交換、伝達講習などを通じ、心身の発達や障害、疾病等に係る共通理解に努める。	15	31	31	23		E			
安 全 教 育	防災・安全教育の推進	交通安全教室等を開催し、交通安全に対する意識の啓発、向上に努める。	17	55	14	14	・自転車関連の交通事故は相変わず多い。安全教育の徹底と交通マナー向上の取り組みを推進していく。 ・あいさつ運動は継続実施する。	A			
		防災訓練等を通して、生徒・職員の防災に対する意識を高めるとともに、災害時にそなえ備蓄資材の充実を図る。	9	66	16	9		B	7		
	あいさつ運動、街頭指導	あいさつ運動や街頭交通指導（P T A参加）を積極的に推進する。	9	61	30	0		C	1		
								（参考） 交通事故件数 R3年度24件 R4年度25件	D		
								E			

項目	目的	内 容	自己評価集計(%)				集計より意見と改善策	学校関係者評価	
			A	B	C	D			
学 年 別	(1・2年) 基本的生活習慣 及び学習習慣の 早期確立	頭髮・服装・言葉遣い、欠席・遅刻をしない等の指導を徹底し、 基本的生活習慣の確立を目指す。	8	48	38	6	(1,2年) ・各学年、一部の生徒に基本的生活習慣の乱れが見られる。次年度も継続指 導を行う。 ・学校行事、部活動はコロナ禍以前にほぼ回復。生徒は意欲的に参加。次年 度はより活性化を図る。	A	
		学校行事・H R活動・部活動を通して、調和のとれた豊かな人間 性を育む。	15	53	28	4		B	7
	(3年) 進路目標の達成	授業への真剣な取り組みと併せ、進路目標達成のため、個別面接 指導の強化に努める。	22	52	11	15	(3年) ・個別面接を丁寧に実施、自己の将来を見つめる力の育成と堅実な進路目標 の設定に務めた。	C	
		外部の進路説明会やオープンキャンパスへの積極的な参加を促 す。	30	50	17	3		D	1
									E
事 務 運 営	職員室及び P T Aとの円滑 な事務運営	施設の維持補修等は費用対効果に配慮して適切な予算執行に努め る。	18	55	18	9	・施設の整備、補修は優先順位を付けて実施したが。校内各所で経年劣化が 進んでおり、未実施箇所が残っている。 ・募集活動業務、入試業務は教務部との連携で円滑に実施した。 ・校納金滞納者は前年度より増加した。督促を継続して行う。 ・就学支援金制度は、その周知と制度利用に、今後も注意を怠らず業務を進 める必要がある。	A	
		事務室と職員室との連携を密にし、募集広報・教育活動を積極的 に支援する。	16	58	19	7		B	7
		校納金滞納者への積極的な督促を行い、未納者を前年度比におい て減少させる。	6	53	35	6		C	1
		就学支援金制度の保護者への周知徹底を図り、制度該当者の漏れ を防止する。	21	53	26	0		D	
								E	

(自己評価総評)

全体的に、「Bほぼ達成できた」という回答が多かった。

魅力多い学校づくりのために、教員一人ひとりが責任のある言動を行い、生徒の個性がのびのびと発揮でき、活気あふれる学校生活の実現にむけ努めたい。